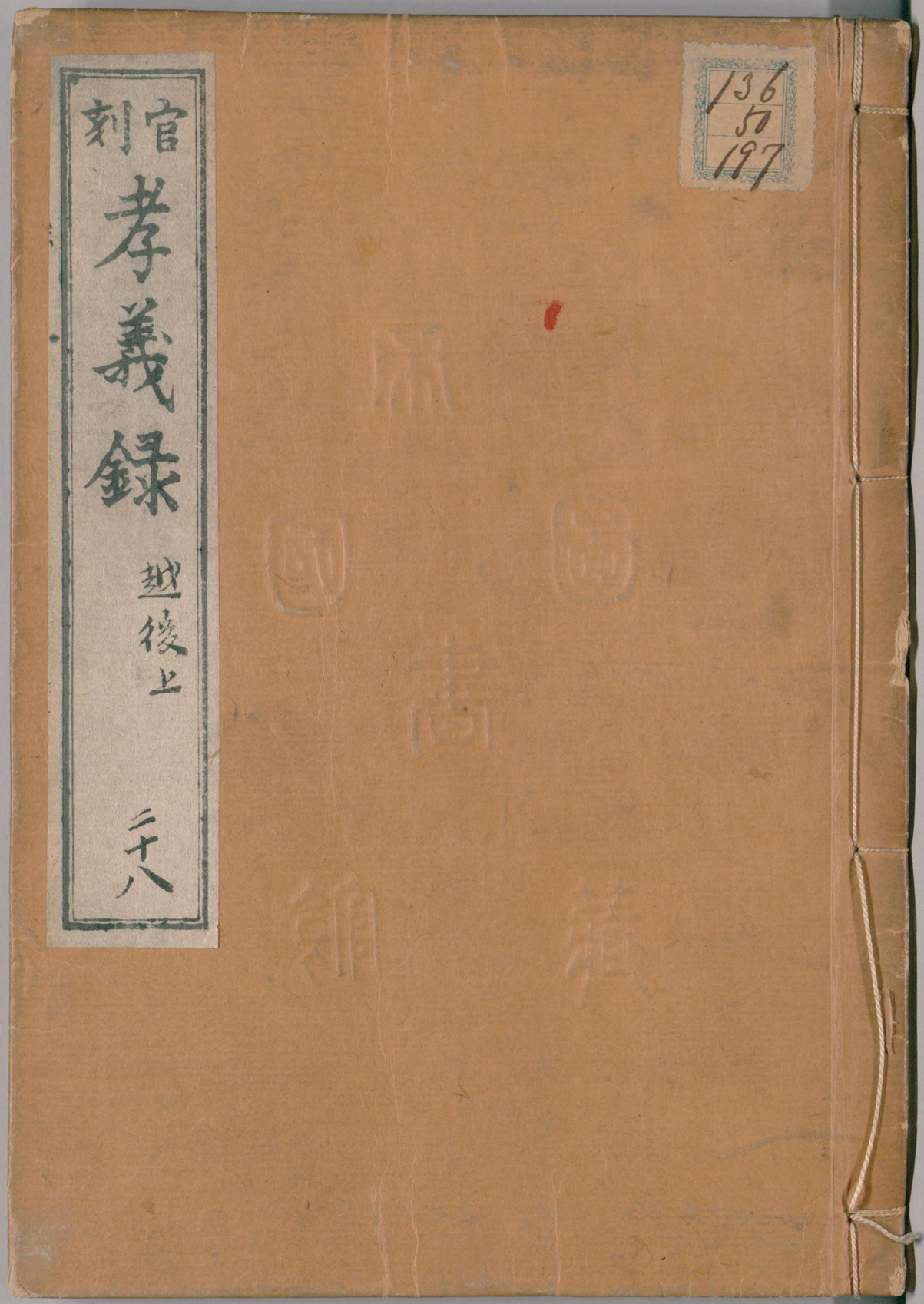
官刻

孝義録

越後上

二十八



136
50
197

国立国会図書館　タイトル『孝義録』 請求記号 136-197

ガラス使用

刻官孝義錄 越後上 廿八

136
50
197

東京圖書館

和書門	傳記類	一三六	五	一二八	五ノ冊
		函	架	號	冊

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

由醫師

孝義録卷之二十八

明治九年文部省受付

越後國上

TOKIO LIBRARY
東京圖書館藏書
CHECKED BY KOMPUSHO 1879

○

奇特者	御代官支配所 頸城郡川浦村	庄屋	下島富次郎 三十八歳 天明二年 御褒美
奇特者	同支配所 蒲原郡米子新田	庄屋	竹前權之請 三十七歳 寛政三年 御褒美
奇特者	同支配所 蒲原郡宮吉新田	百姓	宮川四郎右衛門 三十一歳 寛政三年 御褒美
奇特者	同支配所 蒲原郡中村渋	庄屋	佐藤三郎左衛門 六十二歳 寛政四年 御褒美
奇特者	同支配所 蒲原郡金子村新田	百姓	白勢長之請 三十四歳 寛政四年 御褒美
奇特者	同支配所 蒲原郡水原村	百姓	芋川長五郎 五十四歳 寛政四年 御褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

奇特者　同支配所　蒲原郡水原村

○孝行者　同支配所　蒲原郡上条村

孝行者　同支配所　同所

孝行者　同支配所　蒲原郡上条村

孝行者　同支配所　蒲原郡中條村

孝行者　同支配所　同所

奇特者　同支配所　岩船郡下関村

○孝行者　松平肥後守御領所　魚沼郡堂島新田村

庄屋　穴澤忠次　三十八歳　寛政四年　御褒賞

百姓　桂七　三十九歳　寛政五年　御褒賞

桂七妻　の里　四十五歳　同時　御褒賞

百姓太右衛門妻　ゑさ　三十八歳　寛政五年　御褒賞

町人　宇平次　三十六歳　寛政八年　御褒賞

宇平次妻　みよ　三十二歳　同時　御褒賞

庄屋　渡邊万之丞　二十二歳　寛政十年　御褒賞

百姓　佐右衛門　歳不知　享保十二年　褒賞

○忠義者　同御領所　魚沼郡十日町村

○孝行者　同御領所　魚沼郡小千谷村

孝行者　同御領所　魚沼郡下條上組村

孝行者　同御領所　同所

○孝行者　同御領所　魚沼郡小出島村

○忠義者　同御領所　魚沼郡小千谷村

孝行者　同御領所　魚沼郡小千谷村

忠義者　同御領所　魚沼郡小千谷村

浪人渡邊森右衛門譜代下男　八蔵　六十八歳　享保十四年　褒賞

百姓与三郎名子座院　比都　歳不知　延享二年　褒賞

百姓　惠助　四十四歳　延享二年　褒賞

惠助弟　勘六郎　三十一歳　同時　褒賞

水呑　太右衛門　四十九歳　寛延二年　褒賞

醫者山崎東伯下女　あさ　四十七歳　寛延三年　褒賞

百姓小左衛門名子久助妻　もゑ　四十九歳　明和六年　褒賞

百姓市三郎下代　若右衛門　五十九歳　安永五年　褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

奇特者	上杉弾正大弼御領所 岩船郡下関村	百姓	三左衛 三十六歳	天明五年 褒賞
孝行者	牧雅俊前守御領所 三嶋郡出雲崎尼ヶ瀬町	町人大工作左史妻	名和 三十三歳	寛保二年 御褒賞
○孝行者	同御領所 頸城郡千原村	在田百姓	権之清 四十三歳	宝暦八年 御褒賞
○孝行者	同御領所 同所	権之清弟	六右衛 四十一歳	同時 御褒賞
孝行者	同御領所 苅羽郡石号根村	庄屋	幸右衛 四十歳	寛延三年 褒賞
孝行者	榊原式部大輔領分 高田城下呉服町	町人権左衛弟	助次郎 十二歳	宝暦五年 褒賞
○孝行者	同領 高田城下呉服町	町人	八郎右衛 四十六歳	宝暦九年 褒賞
○孝行者	同領 頸城郡五ヶ所村	百姓	新左衛 五十九歳	宝暦九年 褒賞

孝行者	同領 高田城下春日町	町人	増右衛 四十歳	宝暦十一年 褒賞
孝行者	同領 頸城郡手鴨村	百姓丈左衛妻	新の 四十一歳	宝暦十二年 褒賞
孝行者	同領 高田城下上穢人町	町人	三百之助 三十四歳	明和三年 褒賞
孝行者	同領 高田城下下稲田町	町人	岩太郎 三十八歳	明和六年 褒賞
孝行者	同領 頸城郡直江津今町之内川端町	町人柴屋清之助妻	七よ 二十七歳	安永五年 褒賞
孝行者	同領 高田城下呉服町	町人	長蔵 三十歳	天明七年 褒賞
孝行者	同領 高田城下中屋敷町	町人次郎右衛後家	里の 三十六歳	天明八年 褒賞
孝行者	同領 高田城下春日町	町人増左衛弟	小三郎 三十歳	寛政元年 褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者	同領 高田城下上紺屋町	町人	甚右衛門 四十一歳	寛政元年 褒賞
孝行者	同領 高田城下春日町	町人	紋左衛門 四十六歳	寛政元年 褒賞
奇特者	同領 頸城郡杉流村	庄屋	勘左衛門 三十四歳	寛政元年 褒賞
孝行者	同領 頸城郡虫江津今町之内中傍町	町人	治兵衛 三十八歳	寛政二年 褒賞
孝行者	同領 頸城郡虫江津今町之内坂井町	町人桂次郎悴売次郎妻	いの 二十四歳	寛政二年 褒賞
孝行者	牧野備前守領分 蒲原郡新潟四ノ町	町人田巻屋	三郎兵衛 歳不知	延宝八年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡新潟四ノ町	町人尾張屋	勘左衛門 歳不知	延宝八年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡平島村	新潟町入人番人熱之湯妻	名不知 歳不知	延宝八年 褒賞

孝行者	同領 蒲原郡新潟古五ノ町	町人桂掛屋	久兵衛 歳不知	元禄十年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡新潟古五ノ町	町人大工	市郎兵衛 歳不知	元禄十年 褒賞
孝行者	同領 長岡城下神田町	町人紺屋	七郎左衛門 四十八歳	宝永四年 褒賞
孝行者	同領 同所	七郎左衛門妹	法や 歳不知	同時 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡吉田村	百姓借屋住	庄兵衛 歳不知	宝永五年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡小針村	庄屋	卿左衛門 歳不知	享保七年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡吉田村	云田百姓	三左衛門 四十二歳	享保七年 褒賞
孝行者	同領 長岡城下渡り町	町人飯治屋七郎兵衛悴	佐兵衛 歳不知	享保十八年 褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

兄弟睦者　同領　長岡城下表一ノ町
町人大工義之嫡弟　長右衛　享保二十年　褒賞
無田百姓　孫右衛　元文元年　褒賞
座頭大一弟子　督女　いよ　寛保三年　褒賞
町人虎屋　吾助　延享元年　褒賞
町人借屋住角助悴座頭　清一　延享元年　褒賞
庄屋　又右衛　延享二年　褒賞
無田百姓半助次男　半四郎　延享二年　褒賞
無田百姓　長之嫡　延享二年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡漆山村
孝行者　同領　家来花井住右衛門借地
孝行者　同領　同所
孝行者　同領　長岡城下上田町
孝行者　同領　長岡城下神田町
孝行者　同領　長岡城下呉坡町
忠義者　同領　長岡城下裏三ノ町
奇特者　同領　長岡城下神田町

孝行者　同領　蒲原郡漆山村
孝行者　同領　家来花井住右衛門借地
孝行者　同領　同所
孝行者　同領　長岡城下上田町
孝行者　同領　長岡城下神田町
孝行者　同領　長岡城下呉坡町
忠義者　同領　長岡城下裏三ノ町
奇特者　同領　長岡城下神田町

無田百姓　源之嫡　延享二年　褒賞
日雇稼　金助　延享二年　褒賞
金助婦　よく　同時　褒賞
町人借屋住桶屋　孫右衛　延享二年　褒賞
町人借屋住日雇稼　傳七　延享三年　褒賞
町人漆戸物屋　七之嫡　延享三年　褒賞
町人米屋孫惣右衛門下男　四郎之嫡　延享三年　褒賞
町人油屋　久之嫡　延享三年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡巻村
孝行者　同領　同所
兄弟睦者　同領　同所
奇特者　同領　同所
孝行者　同領　三嶋郡下山村
孝行者　同領　三嶋郡忌村
孝行者　同領　三嶋郡深沢村
奇特者　同領　三嶋郡高瀬村

百姓　徳右衛門　六十五歳　延享三年　褒賞
徳右衛門悴　伊左衛門　三十七歳　同時　褒賞
同弟　伊右衛門　五十四歳　同時　褒賞
同二男伊右衛門養子　伊兵衛　二十七歳　同時　褒賞
組頭　利兵衛　歳不知　延享三年　褒賞
長田百姓　長作　歳不知　延享三年　褒賞
百姓　孫右衛門　歳不知　延享三年　褒賞
剃元　小八　四十三歳　延享三年　褒賞

忠義者　同領　家来加賀源右衛門在
孝行者　同領　古志郡稲葉村
孝行者　同領　長岡城下玉泉寺門前
孝行者　同領　長岡城下大工町
孝行者　同領　長岡城下大工町
孝行者　同領　蒲原郡新潟神明町
孝行者　同領　蒲原郡新潟神明町
孝行者　同領　蒲原郡多根村

下男　徳助　六十五歳　延享三年　褒賞
横目役　佐平次　三十九歳　延享三年　褒賞
町人　四郎兵衛　歳不知　延享四年　褒賞
町人船大工太所兵衛弟　次郎左衛門　五十七歳　延享四年　褒賞
町人大工　善兵衛　五十五歳　延享四年　褒賞
町人借屋住　愛左衛門　歳不知　延享四年　褒賞
町人紺屋　孫兵衛　歳不知　延享四年　褒賞
百姓　忠兵衛　歳不知　寛延元年　褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　家来森[illegible]借地

忠義者　同領　長忌城下表二ノ町

孝行者　同領　長忌城下呉服町

孝行者　同領　蒲原郡新潟古三ノ町

忠義者　同領　家来中村道仙在住

奇特者　同領　長忌城下神田二ノ町

忠義者　同領　長忌城下神田町

孝行者　同領　蒲原郡矢島村

日雇稼　三助　四十六歳　寛延元年　褒賞

町人布袋屋治左衛門下男　七蔵　七十五歳　寛延三年　褒賞

町人借屋住葉子屋忠之湯妻　そよ　二十九歳　寛延三年　褒賞

町人借屋住大工　市府之湯　歳不知　寛延三年　褒賞

下男　紫平　歳不知　寛延三年　褒賞

町人玄庫屋　久右衛門　歳不知　宝暦元年　褒賞

町人住右屋源太右衛門代　勘助　三十五歳　宝暦二年　褒賞

百姓庄左衛門　庄之湯　五十二歳　宝暦二年　褒賞

孝行者　同領　古志郡横枕村

忠義者　同領　家来丸山平八在住

○家内睦者　同領　蒲原郡並木村

○家内睦者　同領　同所

孝行者　同領　長忌城下表一ノ町

○孝行者　同領　蒲原郡新潟小揚町

孝行者　同領　長忌城下神田町

孝行者　同領　長忌城下表一ノ町

西田百姓　五兵湯　五十四歳　宝暦二年　褒賞

下男　八内　七十六歳　宝暦二年　褒賞

百姓　長之湯　五十六歳　宝暦二年　褒賞

長之湯悴　市府之湯　二十九歳　同時　褒賞

町人紺屋　茂蔵　四十九歳　宝暦四年　褒賞

町人借屋住横屋之内後家　そよ　四十九歳　宝暦五年　褒賞

町人桶屋　甚之湯　五十三歳　宝暦六年　褒賞

町人大工佐七妻　名不知　四十五歳　宝暦六年　褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

○孝行者　同領蒲原郡新潟十七軒町
町人借屋住石時屋平次左衛門妻　こよ　二十七歳　宝暦六年褒賞

孝行者　同領古志郡宮内村
安田百姓六之清娘　まつ　十四歳　宝暦六年褒賞

孝行者　同領三島郡安田村
安田百姓　権助　歳不知　宝暦六年褒賞

孝行者　同領長岡城下外田町
町人綿十屋森右衛門妻　ぬい　五十三歳　宝暦六年褒賞

兄身睦者　同領古志郡百本村
安田百姓　三　十七歳　宝暦九年褒賞

孝行者　同領蒲原郡渋山村
百姓　助左衛門　三十二歳　宝暦十一年褒賞

農業出精　同領蒲原郡五歩上村
百姓　半兵衛　六十二歳　宝暦十一年褒賞

孝行者　同領長岡城下上田町
町人傍八後家　せき　四十一歳　宝暦十一年褒賞

孝行者　同領蒲原郡赤鍋村
百姓　金左衛門　五十二歳　宝暦十二年褒賞

孝行者　同領同所
金左衛門妻　まつ　五十一歳　同時褒賞

孝行者　同領古志郡新保村
百姓四郎左衛門三男七之清妻　ちい　二十六歳　宝暦十二年褒賞

孝行者　同領古志郡下条村
百姓　忠右衛門　六十二歳　宝暦十二年褒賞

孝行者　同領古志郡亀貝村
百姓　多右衛門　四十四歳　宝暦十二年褒賞

孝行者　同領古志郡中沢村
安田百姓　袖助　三十歳　明和二年褒賞

孝行者　同領蒲原郡新潟古二ノ町
町人小原屋若右衛門悴　若七　四十四歳　明和二年褒賞

忠義者　同領古志郡富島村
百姓　茂次衛　歳不知　明和二年褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者	同領 長岡城下裏二ノ町	町人綿屋	治之輔 五十五歳	明和二年 褒美
貞節者	同領 蒲原郡新潟本三ノ町	町人本間屋孫惣之丞妻	丈 四十五歳	明和二年 褒美
奇特者	同領 家来駄秋孫釜湯借地	日雇稼	三太夫 歳不知	明和二年 褒美
孝行者	同領 長岡城下関東町	町人	甚六 六十七歳	明和二年 褒美
○孝行者	同領 三島郡成沢村	横目役	七郎右衛門 六十六歳	明和二年 褒美
孝行者	同領 蒲原郡新潟古振治町	町人借屋住七之湯娘	孫 歳不知	明和三年 褒美
兄弟睦者	同領 蒲原郡新潟十七軒町	町人佐渡屋市之湯弟	伊右衛門 四十八歳	明和三年 褒美
忠義者	同領 長岡城下上田町	町人忠左衛門下男	太郎之湯 六十六歳	明和四年 褒美

○孝行者	同領 長岡城下大工町	町人[illegible]之湯後家	名不知 四十歳	明和四年 褒美
孝行者	同領 古志郡千手町村	日雇稼	傳四郎 四十七歳	明和四年 褒美
○孝行者	同領 同所	傳四郎妻	小[illegible] 四十六歳	同時 褒美
○兄弟睦者	同領 長岡城下裏三ノ町	町人信濃屋傳七弟	忠義 五十歳	明和四年 褒美
忠義者	同領 長岡城下裏二ノ町	町人間和屋次郎之湯下男	七助 六十六歳	明和四年 褒美
忠義者	同領 家来星野万七石仕	下男	関内 四十八歳	明和五年 褒美
孝行者	同領 蒲原郡新潟古十四軒町	町人借屋住長谷川屋	權六 三十二歳	明和五年 褒美
孝行者	同領 古志郡仲伏村	千田百姓	六助 四十二歳	明和五年 褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　三鳥郡安田村　安田百姓　市吏　五十三歳　明和六年　褒賞

忠孝者　同領　家来大平徒七郎百仕　下男　六助　六十一歳　明和七年　褒賞

忠義者　同領　家来三間侍者百仕　下男　鉄蔵　五十九歳　明和八年　褒賞

忠孝者　同領　家来小林強助百仕　下男　三助　四十五歳　明和八年　褒賞

○孝行者　同領　蒲原郡天竺堂村　百姓　半七　五十一歳　安永元年　褒賞

○孝行者　同領　同所　町人桶屋　妻　ぬぐ　五十一歳　同時　褒賞

孝行者　同領　長岡城下神田町安吉寺門前　町人鞠屋九左衛妻　万右衛　歳不知　安永元年　褒賞

○孝行者　同領　長岡城下呉服町　八よ　三十八歳　安永元年　褒賞

孝行者　同領　三島郡馬越村　百姓与九郎妻　ヒ里　五十六歳　安永元年　褒賞

孝行者　同領　古志郡四郎丸村　安田百姓　仁助　二十四歳　安永三年　褒賞

忠義者　同領　家来三浦治郎平百仕　下男　栗助　七十歳　安永四年　褒賞

孝行者　同領　長岡城下玉泉寺門前　町人侍右衛妹　けん　四十六歳　安永四年　褒賞

○孝行者　同領　古志郡田中村　百姓久右衛妻　きよ　六十八歳　安永五年　褒賞

孝行者　同領　古志郡第生津村　百姓私宿又右衛妻　そき　六十五歳　安永五年　褒賞

○孝行者　同領　蒲原郡横戸村　百姓　徳兵衛　五十四歳　安永五年　褒賞

孝行者　同領　古志郡福島村　安田百姓　兵助　五十三歳　安永五年　褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝行者　同領　古志郡栃堀村
忠義者　同領　家来伊東助七在
孝行者　同領　長岡城下袁一ノ町
孝行者　同領　古志郡土合村
○孝行者　同領　三條郡小大多村
○孝行者　同領　同所
○孝行者　同領　同所
忠義者　同領　家来小林後右馬在

組頭　　五郎右馬　五十歳　安永七年　褒賞
下男　　仁左馬　七十五歳　安永七年　褒賞
町人日雇稼　　徳兵衛　六十二歳　安永七年　褒賞
三田百姓市十郎妻　　名不知　二十六歳　安永八年　褒賞
大庄屋　　村之助　五十二歳　安永八年　褒賞
村之助妻　　屋乃　四十五歳　同時　褒賞
同娘　　ひ[illegible]　十七歳　同時　褒賞
下男　　六助　歳不知　安永八年　褒賞

孝行者　同領　古志郡四郎丸村
忠義者　同領　家来大瀬庄左馬在
忠義者　同領　家来飛瀬佐太郎在
忠義者　同領　長岡城下大工町
忠義者　同領　同所
奇特者　同領　蒲原郡新潟十四軒町
忠孝者　同領　長岡城下呉服町
○奇特者　同領　長岡城下裏二ノ町

三田百姓　　三助　三十六歳　安永九年　褒賞
下男　　仁助　三十九歳　安永九年　褒賞
下男　　七内　五十七歳　安永九年　褒賞
醫者　　太次右馬　五十八歳　安永九年　褒賞
太次右馬妻　　名不知　五十一歳　同時　褒賞
町人海松屋　　基右馬　四十歳　安永九年　褒賞
町人　　佐兵右馬　三十九歳　安永九年　褒賞
町人間吉屋　　次郎之助　四十歳　天明元年　褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

忠義者　同領　家来桑原助市右仕　下男　与助　六十二歳　天明二年　褒美

孝行者　同領　長忌城下色宏町宝幢院門前　町人日雇稼岩助娘　ゆい　二十八歳　天明二年　褒美

忠義者　同領　家来武山三十郎右仕　下女　よし　七十歳　天明二年　褒美

忠義者　同領　家来田中文右衛門右仕　下男　与助　五十八歳　天明三年　褒美

孝行者　同領　古志郡定明村　百姓　愛左衛門　五十一歳　天明三年　褒美

孝行者　同領　古志郡草生津村　百姓粕屋七左衛門妻　まつ　五十五歳　天明三年　褒美

奇特者　同領　長忌城下表三ノ町　町人日雇稼　徳兵衛　歳不知　天明三年　褒美

忠義者　同領　古志郡十日町村　大庄屋次郎左衛門下男　佐太右衛門　六十六歳　天明四年　褒美

○孝行者　同領　古志郡谷内町　町人　熱兵衛　六十三歳　天明四年　褒美

孝行者　同領　三嶋郡吉津村　割元括　与兵衛　三十三歳　天明四年　褒美

孝行者　同領　三嶋郡新保村　無田百姓漱之湧妹　志ゆん　四十八歳　天明四年　褒美

孝行者　同領　長忌城下関東町　町人肴屋名之湧母　むら　五十三歳　天明四年　褒美

孝行者　同領　長忌城下表三ノ町　町人借屋住麹屋長右衛門母　なさ　四十三歳　天明四年　褒美

奇特者　同領　古志郡神保村　百姓　四郎之湧　五十三歳　天明五年　褒美

孝行者　同領　古志郡熊袋村　庄屋　茄之湧　四十四歳　天明五年　褒美

孝行者　同領　同所　茄之湧妻　その　三十七歳　日時　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

貞節者　同領　三島郡本大鴻村
忠義者　同領　家来森忠助居住
孝行者　同領　古志郡成願寺村
忠義者　同領　家来夏目番助居住
兄弟睦者　同領　三鴻郡笹花村
忠義者　同領　家来渡辺孫之丞居住
忠義者　同領　家来木村仲太馬居住
兄弟睦者　同領　古志郡成願寺村

無田百姓伝四郎妻　小[illegible]　五十三歳　天明五年褒賞
下男　[illegible]助　五十歳　天明五年褒賞
組頭源左馬後家　[illegible]　四十九歳　天明五年褒賞
下男　仁六　四十二歳　天明五年褒賞
無田百姓　作右馬　六十九歳　天明五年褒賞
下女　[illegible]　七十歳　天明五年褒賞
下女　[illegible]め　六十六歳　天明五年褒賞
無田百姓清七弟　[illegible]　五十七歳　天明五年褒賞

孝行者　同領　古志郡福鴻村
忠孝者　同領　古志郡[illegible]村
孝行者　同領　蒲原郡佐渡山村
○孝行者　同領　同所
奇特者　同領　三鴻郡水梨村
孝行者　同領　三鴻郡[illegible]村
忠義者　同領　家来加茂若左馬居住
孝行者　同領　長岡城下表三ノ町

無田百姓　七[illegible]　六十二歳　天明五年褒賞
無田百姓村平妻　名[illegible]　五十五歳　天明五年褒賞
無田百姓　久助　七十四歳　天明六年褒賞
久助悴　[illegible]　四十七歳　同時褒賞
別元　小兵[illegible]　四十三歳　天明六年褒賞
無田百姓　[illegible]　五十歳　天明六年褒賞
下男　[illegible]助　六十歳　天明七年褒賞
町人信原住日産稼徳之丞悴　徳右馬　四十八歳　天明七年褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝義録巻二十八

孝行者　同領　同所

孝行者　同領　長岡城下関東町

○孝行者　同領　三潟郡笹口花村

忠義者　同領　家来前田織右馬左衛

○孝行者　同領　蒲原郡曽根村

孝行者　同領　蒲原郡天竺堂村

孝行者　同領　同所

○孝行者　同領　蒲原郡中條幸村

潔白者　内藤信丸領分　岩船郡岩船町

孝行者　同領　蒲原郡味方村

孝行者　同領　村上城下安良町

孝行者　同領　同所

孝行者　同領　村上城下上町

孝行者　同領　村上城下大工町

孝行者　同領　蒲原郡三条町

孝行者　同領　村上城下大町

徒右馬妻　しの　四十四歳　同時　褒賞

町人豆腐屋六右馬娘　泳助後家　まつ　四十歳　天明七年　褒賞

百姓宇左馬妻　きの　六十七歳　天明七年　褒賞

下男　三助　五十九歳　天明八年　褒賞

組頭　源右衛門　五十一歳　寛政二年　褒賞

七田百姓　弁右衛門　三十五歳　寛政二年　褒賞

弁右馬妻　しい　三十七歳　同時　褒賞

百姓　九兵衛　五十歳　寛政二年　褒賞

商人　三之助　二十二歳　元文五年　褒賞

水呑　重之丞　五十二歳　延享三年　褒賞

町人　權之助　四十八歳　延享四年　褒賞

權之助妻　しの　□　同時　褒賞

町人　又助　五十八歳　延享四年　褒賞

町人与八郎女　せん　五十六歳　延享四年　褒賞

水呑　權蔵　四十八歳　寛延元年　褒賞

町人助左衛門　兵治　三十七歳　宝暦三年　褒賞

孝義録巻二十八

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝行者	同領	村上城下加賀町	町人八之湯娘	定ん 四十四歳	宝暦五年褒賞
孝行者	同領	村上城下小町	町人友左馬後家	志ゆん 四十一歳	宝暦六年褒賞
孝行者	同領	岩船郡羽下ヶ渕村	百姓九郎之湯悴	九之湯 死後	宝暦六年褒賞
孝行者	同領	同所	同娘	女川 三十七歳	同時褒賞
孝行者	同領	村上城下下片町	町人	佐助 四十九歳	宝暦八年褒賞
孝行者	同領	岩船郡下山田村	百姓市助娘	つま 三十八歳	宝暦十三年褒賞
奇特者	同領	村上城下庄内町	町人	紋之郎 四十八歳	宝暦十三年褒賞
孝行者	同領	村上城下羽黒町	町人次郎之湯妻	いわ 三十八歳	明和二年褒賞

農業出精	同領	岩船郡大場沢村	百姓	吉蔵 四十一歳	明和二年褒賞
貞節者	同領	村上城下細工町	町人小左馬妻	志和 二十九歳	明和二年褒賞
孝行者	同領	村上城下塩町	町人惠五之湯娘	いち 四十二歳	明和五年褒賞
孝行者	同領	村上城下上片町	町人	久助 四十九歳	明和八年褒賞
奇特者	同領	村上城下青町	町人	作蔵 五十八歳	明和八年褒賞
孝行者	同領	村上城下小國町	町人	源八 六十四歳	明和八年褒賞
孝行者	同領	蒲原郡東大倚村	水呑万吉娘	いや 二十歳	明和八年褒賞
孝行者	同領	村上城下庄内町	町人	平之丞 三十八歳	明和八年褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者	同領 村上城下下片町	町人	長右衛 四十四歳	明和八年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡上助渕村	百姓	九左衛 五十三歳	安永元年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡下山田村	百姓	角之輔 五十一歳	安永元年 褒賞
孝行者	同領 同所	角之輔妻	丈 四十一歳	同時 褒賞
孝行者	同領 岩船郡小出村	百姓	与助 五十一歳	安永元年 褒賞
孝行者	同領 村上城下小町	町人	源之衛 五十一歳	安永元年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡之桑町	水呑	半四郎 四十歳	安永元年 褒賞
孝行者	同領 村上城下青町	町人	倉之助 三十五歳	安永二年 褒賞

奇特者	同領 村上城下加賀町	町人	長右衛 六十二歳	安永二年 褒賞
孝行者	同領 村上城下細工町	町人	門右衛 二十五歳	安永二年 褒賞
孝行者	同領 村上城下安良町	町人清之輔後家	紀 三十三歳	安永二年 褒賞
奇特者	同領 岩船郡大場沢村	百姓	吉蔵 四十五歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 村上城下久保多町	町人	源七 三十五歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 村上城下久保多町	町人	又次郎 歳不知	安永四年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡上有明村	百姓仁左衛妻	清 六十一歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 村上城下下片町	町人	久次郎 三十二歳	安永四年 褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝行者	同領 村上城下細工町	町人三太郎悴	佐之三郎 三十一歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡下助渕村	百姓	桂八 三十八歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡小川村	百姓	九郎三郎 五十五歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡間島村	百姓	市右衛 五十七歳	安永四年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡間島村	百姓	与助 五十歳	安永四年 褒賞
奇特者	同領 蒲原郡牧ヶ花村	庄屋	長兵衛 六十五歳	安永五年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡三条町	組頭	角三郎 四十六歳	安永六年 褒賞
孝行者	同領 村上城下庄内町	町人	弥助 四十四歳	安永六年 褒賞

○

孝行者	同領 同所	弥助弟	三次郎 三十五歳	安永六年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡小口川村	百姓仁左衛娘	忠[illegible] 三十四歳	安永六年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡七湊村	百姓	茂四郎 三十九歳	安永六年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡燕町	水呑	利八 四十四歳	安永六年 褒賞
奇特者	同領 蒲原郡黒鳥村	百姓	治四郎 五十九歳	安永六年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡下渡村	百姓	平四郎 二十七歳	安永九年 褒賞
孝行者	同領 同所	平四郎妻	己[illegible] 十九歳	安永九年 褒賞
奇特者	同領 蒲原郡白根村	庄屋	助左衛 五十九歳	天明元年 褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

奇特者	同領 蒲原郡中條村	庄屋	源右衛 四十八歳	天明元年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡門前村	社人丹後後家	いく 四十七歳	天明二年 褒賞
孝行者	同領 岩船郡中村	百姓小右衛悴	小四郎 歳不知	年不知 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡國上村	百姓	覚之輔 四十一歳	天明二年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡柳沢村	百姓	仙太郎 三十五歳	天明二年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡地蔵堂町	百姓	庄八 五十六歳	天明二年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡地蔵堂町	水呑	又右郎 四十歳	天明二年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡五分一村	百姓	長之輔 五十四歳	天明二年 褒賞

孝行者	同領 岩船郡岩船町	町人	傳八 五十三歳	天明四年 褒賞
孝行者	同領 同所	傳八妻	日き 四十一歳	同時 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡中條村	水呑与左衛娘	以の 二十三歳	天明四年 褒賞
奇特者	同領 村上城下住町	町人	作吏 五十六歳	天明六年 褒賞
奇特者	同領 蒲原郡茨芳根村	茨芳根組大庄屋	関根五左衛 三十七歳	天明八年 褒賞
農業出精	同領 岩船郡下有明村	庄屋	市右衛 五十一歳	寛政元年 褒賞
孝行者	同領 三島郡山田村	百姓	乙次郎 四十八歳	寛政元年 褒賞
孝行者	同領 村上城下下片町	町人	松之助 四十一歳	寛政二年 褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　村上城下塩町
町人　治左衛　二十八歳　寛政二年　褒賞

兄弟睦者　溝口龜次郎領分　蒲原郡下曲通村
百姓　清九郎　歳不知　享保六年　褒賞

兄弟睦者　同領　同所
清九郎弟　太右衛　歳不知　同時　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡長戸呂村
名主　又兵衛　歳不知　元文二年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡下奥地
云田百姓　七藏　歳不知　延享元年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡田上村
云田百姓　佐左衛　二十一歳　延享元年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡西塚目村
云田百姓　心兒　歳不知　延享元年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡太田奥地
云田百姓　孫類之衛　歳不知　延享三年　褒賞

孝行者　同領　新發田城下緑屋町
町人　茲類　歳不知　延享四年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡今町新田
云田百姓　織七　二十歳　延享四年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡長嶺村
百姓　忠之衛　歳不知　延享四年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡小次戸村
百姓　戸次之衛　歳不知　寛延元年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡鎌倉新田
云田百姓　十之衛　歳不知　寛延元年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡蒲原村
百姓　長吉　歳不知　寛延元年　褒賞

○孝行者　同領　蒲原郡松橋村
百姓佐戸衛兄座民　治之一　歳不知　寛延元年　褒賞

孝行者　同領　蒲原郡新津村
組民　織助　歳不知　寛延元年　褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

○孝行者　同領蒲原郡岩渕村　無田百姓市之湯妻　已統　二十八歳　寛延二年褒美

○孝行者　同領蒲原郡新井田村　百姓　儀之湯　歳不知　宝暦元年褒美

孝行者　同領蒲原郡五十公野村　無田百姓借屋住　三内　歳不知　宝暦元年褒美

孝行者　同領新發田城下上町　町人　左左衛　歳不知　宝暦二年褒美

忠義者　同領蒲原郡古田新田　醫者良庵下女　[illegible]　歳不知　宝暦五年褒美

孝行者　同領蒲原郡沼垂町　町人　源次郎　歳不知　宝暦十年褒美

孝行者　同領蒲原郡沼垂町　町人借屋住　加之湯　十八歳　宝暦十年褒美

孝行者　同領蒲原郡結新田　百姓　宇兵次　三十歳　安永元年褒美

孝行者　同領蒲原郡白根村　百姓　与四郎　五十歳　安永二年褒美

孝行者　同領蒲原郡加茂町村　百姓長右衛娘　[illegible]　三十三歳　安永二年褒美

孝行者　同領新發田城下紺屋町　町人　石[illegible]　二十六歳　安永五年褒美

孝行者　同領新發田城下鐵人町　町人次助妻　[illegible]　三十五歳　安永六年褒美

孝行者　同領新發田城下上町　町人　[illegible]　四十三歳　安永六年褒美

奇特者　同領蒲原郡結新田　百姓　若次　四十一歳　安永六年褒美

孝行者　同領新發田城下谷町　産改　[illegible]　四十九歳　安永六年褒美

孝行者　同領蒲原郡池端村　無田百姓　[illegible]　二十九歳　安永七年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝行者	同領 蒲原郡矢代田村	百姓	兵右衛 六十一歳 安永七年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡下里村	百姓借屋住松太郎妻	せき 四十一歳 安永七年褒賞
孝行者	同領 新發田城下上町	町人大工	仁太郎 二十三歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡内島見村	百姓	熱次郎 六十三歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡内島見西奥地	元田百姓平右衛娘	あさ 三十六歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡切梅村	元田百姓利之清娘	いの 十一歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 新發田城下上町	町人借屋住	若六 四十歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 同所	若六妻	きく 三十八歳 同時褒賞

孝行者	同領 新發田城下下町	町人	五郎助 二十九歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡五十公野村	元田百姓	傳吉 三十五歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡二本松新田	百姓	傳七 三十八歳 安永八年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡大島新田	名主与八左衛妻	志ん 三十八歳 安永九年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡天ケ沢新田	百姓	次郎助 四十六歳 安永九年褒賞
奇特者	同領 蒲原郡臼井村	百姓	仁左衛 五十二歳 安永九年褒賞
農業出精	同領 蒲原郡鵜森村	百姓	七左衛 八十八歳 安永九年褒賞
孝行者	同領 蒲原郡吉田村	百姓	七[illegible] 四十二歳 安永九年褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　蒲原郡小須戸村
孝行者　同領　蒲原郡佐々木新田
孝行者　同領　蒲原郡沼雷町
孝行者　同領　蒲原郡尽奥地村
孝行者　同領　同所
孝行者　同領　蒲原郡大庫新田
農業出精　同領　蒲原郡門口新田
孝行者　同領　同所

百姓三五郎妹　志乃　三十七歳　天明元年褒賞
組頭　九左馬　四十五歳　天明元年褒賞
町人　仁八　三十一歳　天明元年褒賞
元田百姓　六右馬　四十六歳　天明元年褒賞
六右馬妻　けん　四十三歳　同時褒賞
百姓　兵右馬　四十一歳　天明二年褒賞
百姓　茂十郎　七十五歳　天明二年褒賞
茂十郎悴　四郎次　五十三歳　同時褒賞

孝行者　同領　蒲原郡鶴森村
農業出精　同領　蒲原郡塩谷村
孝行者　同領　新發田城下麹屋町
孝行者　同領　新發田城下上町
孝行者　同領　蒲原郡二枚橋村
孝行者　同領　蒲原郡沖新保村
孝行者　同領　蒲原郡山倉新田
孝行者　同領　蒲原郡白根村

組頭茂次郎妻　里よ　五十七歳　天明二年褒賞
名主　半四郎　六十五歳　天明二年褒賞
町人借屋住清七娘　いろ　四十七歳　天明三年褒賞
町人借屋住髪結　岩助　三十五歳　天明三年褒賞
元田百姓　伊之藤　二十二歳　天明三年褒賞
百姓　茄之藤　五十七歳　天明三年褒賞
百姓六之郎娘　両ん　三十一歳　天明三年褒賞
百姓　傳六　二十八歳　天明四年褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領蒲原郡車場新田
孝行者　同領蒲原郡中之島村
孝行者　同領蒲原郡今町村
孝行者　同領同所
孝行者　同領同所
孝行者　同領蒲原郡俵柳村
孝行者　同領蒲原郡大渕村
○貞節者　同領新發田城下立賣町

二十二

安田百姓松之郎姉　安里　四十歳　天明四年褒美
火左衛　九八郎　四十七歳　天明四年褒美
安田百姓　与惣右衛　六十二歳　天明四年褒美
与惣右衛守　八左衛　五十四歳　同時褒美
同　十助　五十歳　同時褒美
百姓　若八　六十三歳　天明四年褒美
百姓　与四三郎　六十歳　天明四年褒美
町人孫七妻　その　四十九歳　天明四年褒美

孝行者　同領蒲原郡中條村
孝行者　同領蒲原郡中条新田
孝行者　同領新發田城下下町
孝行者　同領蒲原郡米蔵村
孝行者　同領新發田城下指物町
孝行者　同領新發田城下紺屋町
孝行者　同領同所
孝行者　同領新發田城下桟木町

安田百姓長左衛守　發五郎　三十六歳　天明四年褒美
百姓　甚七　三十二歳　天明四年褒美
町人　發五郎　四十一歳　天明四年褒美
安田百姓　市之助　二十九歳　天明五年褒美
町人与八妻　よき　二十七歳　天明六年褒美
町人　文蔵　四十四歳　天明六年褒美
文蔵妻　きく　四十八歳　同時褒美
町人　清八　四十六歳　天明六年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝行者　同領　新發田城下下町
貞節者　同領　新發田城下指地町
孝行者　同領　蒲原郡大吏新田
孝行者　同領　同所
孝行者　同領　新發田城下桶町
孝行者　同領　新發田城下中町
孝行者　同領　新發田城下中町
孝行者　同領　新發田城下上町

町人借屋住大工不在焉娘　らく　三十七歳　天明六年　褒美
町人与三郎後家　志ほ　三十八歳　天明六年　褒美
百姓長左衛門娘　そよ　二十八歳　天明六年　褒美
同　くよ　二十五歳　同時　褒美
町人庄左衛門妻　と免　二十六歳　天明六年　褒美
町人借屋住又六妻　あき　五十一歳　天明七年　褒美
町人借屋住　六助　六十三歳　寛政元年　褒美
町人大工　太次郎　五十歳　寛政元年　褒美

孝行者　同領　蒲原郡大鳴新田
孝行者　同領　新發田城下上町
孝行者　堀左衛門亀領分　蒲原郡村松下町
奇特者　同領　蒲原郡宮崎上村
奇特者　同領　同所
奇特者　同領　同所
孝行者　井伊会郎少輔領分　三鳴郡与板稲荷町
貞節者　同領　三鳴郡与板中町

百姓　五助　四十四歳　寛政二年　褒美
町人大工　林八　三十歳　寛政二年　褒美
町人借屋住持藏後家　さん　三十九歳　寛政二年　褒美
百姓　六左衛門　七十三歳　宝暦三年　褒美
六左衛門孫　子太郎　二十六歳　同時　褒美
同次男　次郎助　四十四歳　同時　褒美
町人　与助　歳不知　享保十六年　褒美
町人六吏妻　名不知　歳不知　享保十六年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者	同領 三鴻郡与板長岡小路	町人	七助 歳不知	宝暦三年 褒賞
孝行者	同領 三鴻郡与板稲荷町	町人寡	七[illegible] 歳不知	宝暦三年 褒賞
奇特者	同領 三鴻郡与板新町	町人	五[illegible]助 歳不知	宝暦三年 褒賞
孝行者	同領 苅羽郡赤田村	庄屋	徳左[illegible] 四十五歳	明和元年 褒賞
孝行者	同領 三鴻郡与板新町	町人	平助 歳不知	安永七年 褒賞
孝行者	同領 三鴻郡与板横町	町人寡	志[illegible] 六十歳	安永九年 褒賞
孝行者	同領 三鴻郡枝々原村	西田百姓	孫次[illegible] 六十歳	天明二年 褒賞
孝行者	同領 三鴻郡下町	町人庄左[illegible]妻	[illegible]の 五十歳	天明五年 褒賞

孝行者	同領 三鴻郡横町	町人	与右[illegible] 三十六歳	天明五年 褒賞
孝行者	同領 三鴻郡与板新町	町人	六[illegible]文 四十五歳	寛政二年 褒賞
孝行者	同領 苅羽郡黒川村	庄屋	森平次 四十三歳	寛政二年 褒賞
奇特者	松平日向守領分 魚沼郡並柳新田	割元	関矢久左[illegible] 四十七歳	宝暦十二年 褒賞
奇特者	同領 同所	久左[illegible]悴	関矢孫三[illegible] 三十九歳	天明五年 褒賞
孝行者	堀式部少輔領分 苅羽郡椎谷町	西田百姓	孫[illegible]郎 五十二歳	安永五年 褒賞
孝行者	松平肥後守領分 蒲原郡長谷村	肝煎	治[illegible]右[illegible] 六十九歳	正保三年 褒賞
孝行者	同領 蒲原郡吉津村	百姓長左[illegible]悴	市[illegible]三[illegible] 歳不知	天和三年 褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

○忠義者　同領蒲原郡津川中町　町人源右馬譜代下女　の　こ　六十九歳　享保十七年褒賞

○忠義者　同領蒲原郡津川中町　町人茂口郎譜代下女　な　川　六十八歳　享保十七年褒賞

○孝行者　同領蒲原郡五十沢村　百姓　助太郎　三十三歳　元文三年褒賞

○忠義者　同領蒲原郡白坂村縄ヶ川谷　百姓庄右馬譜代下男　源太郎　五十四歳　寛保三年褒賞

孝行者　同領蒲原郡津川中町　百姓　甚左馬　五十九歳　寛延三年褒賞

孝行者　同領蒲原郡津川下町　百姓　与右馬　三十九歳　宝暦元年褒賞

奇特者　同領蒲原郡津川中町　百姓　勘左馬　六十二歳　宝暦十二年褒賞

孝行者　同領蒲原郡八田蟹村　百姓　源右郎　四十七歳　安永三年褒賞

孝行者　同領同所　源太郎妻　め　こ　三十九歳　同時褒賞

○忠義者　同領蒲原郡北村　元郷臣九郎左馬譜代下女　も　川　三十五歳　安永六年褒賞

○奇特者　同領蒲原郡白坂村堀ヶ熊沢　百姓　偽　吉　五十歳　安永八年褒賞

奇特者　同領蒲原郡五十沢銀山　山師　加賀　幾　茂　五十八歳　天明五年褒賞

○孝行者　同領蒲原郡津川湊町　百姓甚左馬妻　ま　へ　六十歳　天明八年褒賞

孝行者　松平越中守領分蒲原郡和越村　百姓　六　之　丞　二十九歳　宝暦五年褒賞

奇特者　同領三島郡寺泊町　年寄　源　太　馬　四十八歳　宝暦六年褒賞

奇特者　同領三島郡寺泊町　年寄　茂右馬　三十六歳　宝暦六年褒賞

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

奇特者　同領　苅羽郡柏崎町　町人和間屋　茂作　四十三歳　宝暦六年　褒美

奇特者　同領　苅羽郡柏崎町　組民　武平　五十歳　宝暦六年　褒美

孝行者　同領　魚沼郡山谷村　百姓源七娘　いろ　三十三歳　宝暦八年　褒美

○孝行者　同領　魚沼郡水口沢村　百姓四郎助妻　せき　三十歳　明和二年　褒美

孝行者　同領　岩船郡湯沢村　百姓　久五郎　四十七歳　明和七年　褒美

○孝行者　同領　苅羽郡黒瀧村　百姓　甚三郎　四十三歳　安永四年　褒美

奇特者　同領　魚沼郡山谷村　用達　伐右衛　三十一歳　天明四年　褒美

奇特者　同領　魚沼郡上野村　百姓　九郎次　十九歳　天明四年　褒美

奇特者　同領　魚沼郡奈条村　庄屋　大海兵七　五十歳　天明四年　褒美

奇特者　同領　苅羽郡小条村　鶴ヶ源沢　組民　東駅半三郎　五十一歳　天明四年　褒美

農業出精　同領　苅羽郡加納村　百姓　六大夫　四十四歳　天明七年　褒美

奇特者　同領　三島郡寺泊町　年寄　柳下与三郎　四十六歳　天明七年　褒美

孝行者　同領　蒲原郡寺沢村　百姓　七三郎　五十九歳　寛政元年　褒美

孝行者　牧駅半右衛知行所　蒲原郡羽田村　百姓　太右衛　三十三歳　天明八年　褒美

孝行者　同知行所　蒲原郡高畑村　百姓惣六右衛門悴太郎助妻　よく　五十一歳　天明八年　褒美

孝行者　溝口相模守知行所　蒲原郡水原村　無田百姓　久米之助　五十五歳　寛政五年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝行者	同知行所 蒲原郡大井町	醫者	玄道 三十三歳	寛政五年 褒美
○孝行者	同知行所 蒲原郡柳場新田	百姓	忠四郎 六十歳	寛政五年 褒美
孝行者	牧井価前守領分 長岡城下大工町	非人種々助娘	志ん 三十二歳	延享四年 褒美
孝行者	同領 長岡城下大工町	非人	あ紀 四十八歳	延享四年 褒美
孝行者	同領 同所	あ紀妹	さの 四十五歳	同時 褒美
孝行者	同領 長岡城下大工町	非人	せき 五十歳	延享四年 褒美
○孝行者	同領 長岡城下大工町	非人	三次左衛 三十八歳	明和七年 褒美

奇特者下島冨次郎

下島冨次郎は頸城郡川浦村の庄屋にて四百石あまり此田畑をもちて生れつき貞實にして志うも才智なしにて男なり御代官行垣庄蔵を屋おさむる二十八村と榊原式部大輔乃所領のうち人なる三村は水とほしく年々昇損のうま人をえたる土民乃くるしき大小となくそこなる逃散して人の下敷となるものも多かりしかは是とに家数減しく田畑も皆荒地ともなりへくそみえし冨次郎思ひ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]とひ貧冨互に[illegible]ひ[illegible]ともを[illegible]ち行屋くもみえたるとく年頃用水をくなりて荒地

のこ海さ里く定りたる貢物も納めうくく貪さいたんうこ
なく上江の村くは関川といふ大河を堰入て用水あくの
こふあらぬ人りて其河まもあれは今あらしこ水原を
おまうれ各代うあ知うは河まもの村こ知てりれらまへな
く定りまれ貢をものつら納ぬくしさまと各道一里
をあれは人吏れ費とくかからしたれは家いうれもして村の
内牧もしからぬ屋りにはうらふ屋しこけえ河くれ是
屋うあ平田に作せくまくさせしまいうれも彼ういふまく
なりましうと上江乃人は又をれう田の水葉ハまりやせん
をおりひ家くと云葉を海うけて愁訴をそなしたるか

安永元年内勘定奉行安藤弾正少弼さくハし考しう同
し紀七年幸原伊豫当をれ職うけ給はりたる時堰
清く屋さは定りたるかなり我も上江乃訴人屋むまず
なくやはまんこ使う経ぬらうこよとそ下知ありける
れとなく新堰乃水原知らさそれと上江のさりうとも
ならさりしうは其村の人くとはあらそふ詞をな
かりさされは三十一村上江の村とあれ手れる組ハ
せよとなり職のお知あるをうれ用度黄金四千
五ふを及知しう彼う同し里なる門衛村の貧民に
も割賤を出さしめ江を銀の村くとそもとのう銭

かゝる病者なれハ二便のことゝなるとも おかえ候若物
しきものをけがす事夜却るをわたりしに花七分
とりして鍋おとふにそし紀かハかしさいろよく嫌させ
なとしく日くの屋とひにもおかり手かせ紀に出まして
煙草やうとくおるとふし息ふる此ある紀をのまさ
それいとゆに家にかへり事某をすゝめ食物をあたへ
日暮てうへりきるなにも玄先もそれ疲をいとふ多る
くりさとりなとして祈ん此り夜抱せしかのちハ
ちとしく家の内にあるくいりになりそれをとさね
とりへおひ出それ老病をなくさ先ありある時屋根の

やふまとく絡ひそるに父は病乃床よりとゝあも杉ひ見
乃法ものひに人にあらふる宅地なれハとりつく絡
姻にもとよふましと屋うくに出しとに貧苦
をなけきしにきゝ紫花七ヶ山りたゝ人をまいか
にもそれをひをゆるやうにしてつくひて父れんを安
うしめんとく夫らをしゝ事紀には人れ髪ゆひさう
屋きそるを業とし首をおとよりの日傭をうを紀
夜なくハ雑活乃手傳なとして粉骨をとしそれハ
あれまくハ人多き人それ孝心に感しく利是ばとう
を金をかしあたへの物ひめをそ償ものをそれくて

其七ハ父乃いまを行し家質の手形をとりて居し父
のおよりも出されていとらまし者なるを母にて其まゝ
手形を手に握りたゝふより変ハ口ゝ先地なりとてか
是ゝ遠ころの辛苦を感し涙を落しくて行ひ
ありさるかなれても父の病月日ふをもて九年を経て
六十七といふよりせられ其葬のまゝけまく経り
つゝあるせいとなるけるかなし後ハ忌日ハ其画
像をかけあるもしき絵をそなへ家りを用うくなる
生るかつゝふるかとしかまて姉乃是ゝ病やうくなり
快くこれに母につゝへて孝行なりしゝ母をまゝ自ゝ

て齢ゝてねさあまたゝ行はのるゝ父につゝへしまを
なら須をまさう食事乃先つらし紀を始まハ母に
のゝまゝ先煩薬すいんとかしむまゝ後ハ其ひつゝあく
そふかなる根にて寺詣もなりうしとゝへ其後
乃是ハ寺にまゝ毎伝法をとさくかへ是て母にうれも
なりしをそしけるを紀比二人とも小袷のうちをなる
是と母にハ絵あけさ衣をとさを異ゝ時ハ座にむ
しろをまうけ床をしき蚊帳をもたりて山屋をく
いまさをよくしはまるまくハ姉弟詰ともそのうちら
にをりて其七ハ薬履にうしなとの薬細工成なりし

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

それ價をもとめ毎にまくされをもてくむる料とせし
う毎もかきらう骨折をおりひたかりてせちにとゝ先
しうは史なりしてたまくらまをとりかしこうりから
ひけるなといふなしあうれたまゐくされをとりすゝめ
ある間しも火災に行ひて家財ともに屋あらをし
るもたしうと彼ゝ孝心の深さに感しまゐる人
くよりも行まなと拾をとひ極なく住ゐもいくこそし
とせかく諫あれものともなれ人出代官大貫治出来より
ま行実を学えあけしに寛政五年十二月銀をとてく
乃詩褒賞をくださましとて見うされ出乃地を

溝口龜次郎の西頃なりしう嘉七年に第をあてへくを
行ひをたけましけるを天明元年八月乃事
なりき

孝行者佐右衛門

魚沼那堂島新田村にすめれ佐右衛門は高五石りてる
百姓なりをそれ人となりいふしうれ拝日公をたん
しかれく貧しく世を渡りしと貢りのとくたる
りれく年ちれ人にをくれておきたるとなし
又父母より孝嘗あけうしう父れうをし後に朝を
にそれ牌前にむかひ公私のるすあれを吉凶のを無

にあるまでいふにしたがひ如ありしことにそ是より
毎乃起るをうかひ晴雨をつゐ寒暖をしらひ
つゝしに手をとるて燻のりとに産さし先手つゝら
手水を洗ふ也朝飯をすゝめて後とのまもまて据
りむかひぬいけるにはいふ必そ此所にまうし此ハ
まことりさ此乃るをくるしまはく毎乃外床は
いかにもやはらかなるに志うしとく志れく下安の菓
を並へ或ハ年始節句にはいとくおれて袴をつけ
ことわりて此菓を調しく霊前にそなへ或ハ香花
なとをそむまて居まさ両ふる人のとく家にま

うけまつり終りて後に出よくこひ給へとく毎にすく
先ぬかりをそ給ふ数十年を経てそ申ふかりしハ
ことの内にさとあるへし別家にとれる兄弟此
妻子まゝあもかまにならひく孝行源りしとそ
かゝ所も此なれハ村人の交りにも礼義そくしく
殊に両先やうなりしは佐世志ゝ名法あるにそ此
郡中にあらはまやうくけ此をあつかりおさむる
松平肥後守より某そこたくとかくへて褒美やり
是享保十二年の事なりとて

忠義者八茲

八歳は魚沼郡十日町村にて発る浪人渡邊森右衛門
下部なりしめ喜右衛門官祿にはなれし時父家
弥兄十郎左衛門夫婦四ヶ月妹ふくり下部に由を来
とあれ八歳とまして八歳の嫡子とはなくて九人残
具し爲四十八年なりし此村に来るすまうやうには
死うせて今は喜右衛門と妹ひとり十郎左衛門の娘子と
里に此八歳とすく四人とのこまりかく度久しき浪
人にあまれたひ月日にそんてせんかたなくあしそ
夕をたりかあまさに八歳は数十年のむかしより
主人と国窮をとともにしをのまう労をうくりみはして

そく喜右衛門のためをのこいとなく夜を日にそ当ふ
く忠勤せし程目度始節句といへども主人のるすなら
ては儲にもゆうて年ゝをくらしてそれと四季施なと
乃至ともなれまたに主も一夜を脱あらへしの是は
うまはしして夜なく夜のるをとれは第履をうし
なられ細工をいとれをうれまたり此高人にうつ代
なりしをあらひをりく古き夜をとらのへて意氣を
凌ぎぬ此しも雨うら雪掃くをさも結りつよけ
まして是を雨山へうひ炭薪のまうあにいらぬなし
とく屋根の雪を夜とにおろしまして夜の時理と

てもなく物されも月日に屋ふき頻しけるにある頃
風雨もけしく屋根を吹きくしに八蔵ハとりけん
も屋乃上にのわり表右衛門の麻布のうへを身をりて
をさへと先晴にいたりしるもあれ今まで主人乃
使としてきさに行とれ必夜ふけく帰るとなり
其されの屋とりに来をあらして仙志ろうまへる屋
しもいふ事えしうをのう家にあらさる程にいりたる
其主のるすかき殆んも荒来なくしとくつゐり一
来を他にやとりしてなりしそれもりしてまて菓子
くらすれなとにいたふ其ハ其のれハくれまつゝ帰りて

主に乃とすくめそうまかき里はこる田といふ所なり
久く親にはなれ兄弟にわかれて表右衛門に従ひあ
ひまゐるるもなるを所其せ先く一夜をかりれ地に
きちたん親族にも對面をへしとこゝ主人も志ゐく
もちゝ先帯れとかきなくては一日れ烟をたゝれを
それ艱難をまう身にうけつゐに古々へも行しとな
く年々山澤あれを河急なるとれ宮使をおくさお
ちしてきてしく耕作をせしにやりて田の杷の稲代
かまとりてすれをひ乃きをもとうなしけり十郎先
清つり娘乃いとけるれ時物ならハをそく思ひしとと

その費とおしき燈火の料もそえくなるをそれ
おとるの家にとりなひ行まり苦をうむるとなら
ませしうをれまもそれかたしたるに菓細工などいとなる
居くかへらんといふを得ぐ背おひ帰りぬあるとれ表右
清つうをれたひのを先とし針治の警古代せし小
八蔵ハ日く行くまと事多なれしそれ疲きをやえ
むへきに夜なくをのまう腹をりあ針をさしなら
ひせりり後には針口をれいゐしたへくしてもみえけ
まとさらにいとふ気なくに療治乃さて両人なるを
のこそ祿かひ多なる又主人の父兄うをあし附それ外

抱ほ心をそきしうつきて十歳左馬ハ主れ比腹を
なやら百日あゆりにも及ひしに二便のまむことにハ
いゐきうへ夜とも病の身を治さしとをのまう机
をりしくあくくめなとせし程に十歳左馬も病床乃
うちなからそれ労と祿さらひ今まで我身の労は
厭ちされとかゝる貧窮のおり後しまて醫療も
心乃まゝなら祿く只四身のまつらひ乃久しくん
事をいそと涙をなきしさゐいとあれなりしき
かゝるを事まで十歳左馬終りにのそこて最此内の者を
外にのこしにふよひつませ代たるに八蔵とまれと

事新時としてハ朝夕のまうもそんくなりし
うんにつきて此人ことかはらぬる事もあらんか
ごとく食事をすし絶しるもしを主人をとろ
うしむるをあらんとてかはくそれをうゐさる
なり十日町村も更にいふ須を近乃村里まくこと
下部をるものく鏡とうなるなれさきは享保十四年
此事ばあつかりおさむる松平肥後守栄をしたくをあ
そんとくその忠義を褒賞せらるゝ者なれハそ乃
比肥後守より人しゐ人をとんさく絶しり
むゐをつさを又愚ならんそんとく年一年忠勤

忘らさるとしさゐを称賞をしまに何るを年老ぬるハ
私乃まゝに仕へうとしとそいふへきるとそんとく己ら切を
うしとて云葉とくねく只問り意をもの之なる
ぜうあるし此表右馬といへるハあれ大守につへて
官様ともよいちしるゐき者なりしかはなく此なる
身とはなるまゝ志ら絶ともかゐく武士乃こさ和を守
里四十八年乃貧苦ば絶まを歳ハおさむる物とて
はなれ一門かうしに絵一をしをうゐ垂しるを
ありいさゐしきむなりき

孝行者此郡

魚沼郡小子谷村に此郡といふ庭所を按摩する
事を業として母と妹を養しなひ支婦まゐしく
世代いとなみしにその舅三四郎死してより二十三
年此うしてそう私家族をもむへとなる妻ハ有とよりも病
多くしてさいひのそしてけるなら稱ハ只此郡ゑと
里行くれとかせさ病より朝夕乃まうけも絶く
なれと家屋たらしむつましくいけらし私事ひなく
いと殊勝なれとなんとも母につへて孝心極りなく
自しゐ乃身にて力をこそし飲食の事をとらへて病
さう貧困まゝにその好きをとらへさるなりあれ其

流を落しものともくれとゐうなし殆ると是夜とな
く他にゆく時に稱んとうにて氣をとらひ病也
たまゐ安吾代とひ言葉の夕はいくさ也と称く
まゝ志りやり其後より母と妹と病に如きてとく
ともにうをかしうを灰抱乃稱んと稱なりしと
中く言葉にもしかしてそみなく父は京都
田といふ所に住く此小子谷よりは二里行て此山川
を無そてくやしうらぬ居なりしうを居る此
いとひりれく月に二度三度乃安吾をかして此五度
なる谷鴻といふ所に拾子此あるをうか附行うるも

名使ニおりふのあまりを取給ひ人ゝりて実子のことくに養ひ育しとなん其行ひを褒賞するとて
米そこたくをゆるへしハ此地をあつかりおさむ事
松平肥後守なりとそ書き　延享二年此事な
ほとゝ

孝行者太右衛門

魚沼郡小出鴻村乃庄屋惣兵衛ハ地借り太右衛門と
以て親ハ吞の百姓あるを生れつき律義にしていと
けなきより人をうゑまひかるゝそ先の物るまひ
にも礼義あるをしらしハ十一乃ゑ母に法へしに

行歩も心乃まゝならされはそれ原しなひいと稀んころに
そみそくそれをひには魚を行きなひ夜秋の程ハ人れ
織出せ親ちゝにいふ物を持行賣て其價をとゝり
かくとゝりきいとなゝ乃中なから母此酒を好ゆるとく
物ことにそれ價を妻子にまゝ程よき時にとゝむ
へし必氣色なそこなひりとゝ心をとくあれなひり
出来り或はそれ生に志ひ背おひて寺に詣く
又浴ゝせんと称うへはとみに居風呂代まうけぬ此四年
お太右衛門ハ娘の三歳なるにそ母く母乃樋の実を
くはせしにそれ売咽ほかりてをやうり死をり

右右婦のあれなひよりしは母れかくといひ出てかれ
里なく悔ミ歎きあまたゝ程にさあらぬ氣色なりて
是ゆへの食数なりとそ久しかあ母の憂をなくさ先
娘ゟ不幸れなりハかりまたかくるましなとむうゝに妻
子にいひ出それよりしてはゆゑく孝養行ひかり
しとそ孝心のいたまる事を屋て此事をもらあ
志里ゆへし屋て此所ゆあつかりおさむる松平肥後ゟ
まかりとゆえ上しゝは業をいふ人て褒美せしを
寛延二年の事なり矣

忠義者あきて

行きは兼沼郡小子谷村乃醫者山行東伯ゟ下女なり
もしめ東伯ゟ養父半孫といふものゝ高田より来りて其
にまとしゝ十三年前に世をまうし妻と二人れ娘ゆ
乃こをり年頃のとも乃子もあらは聟まむ人とく
おくかしこまつ孫をとめられとゆる人をもなくて
親子二人そふを送りけしゝ行さは縮苦といふ物
をうゝを賃銭を得て二人を養ひたやこ年に及ひ
しに蒲原郡村山といふ所より東伯をむ人とす婦娘
まあハをて半孫ゟ名詞をそ法をせあるされとも法せる
病家もなく貧窮日ゝにいたまし一二年ゆゑハ東

伯父婦とも小痿弱の病にて家れうちも一切ゆきうしく
くいうにもすれはひにくるしきあれは云とも此老母
ふたりの雅子交姉妹をあはせて六人の衣食誰をす
くれりれもなくすゑに飢寒にも及ふへきを何さ
もうれ手稼しきやうくにはたくしく種に時ありてハ
人にかくれて種をさ村りゆれ種をなとせしるすも
ありさうしきを里人とも此受傳へたらし五月
乃事なりしかいさかの力をあはをとく金壹歩と
殘三貫文あまりをたくれ志かれはなら須去里ぬる
菜の菅にも村の役人かあり何ハとて菜一俵をあたへ

しか已か用とハなきてこそ東伯小ひくしあり寛延二年
此地をあけりをおさむ松平肥後守より菜をとくく
を何をへしハ忠節乃褒美なりとも

孝行者権之嫁

孝行者六出馬

権之嫁ハ頭城郡千原村の百姓なりと身六右馬とても
小耕ひ田畠をもてしまつか小人の生先なり
雇作していと両行しく世をけたりしか母に孝義
あつかりき母十五年ぶ眼の病にかりしとも兄
身いぬく見をうまへ何くれと療活をくハしか

なひ乃ゆるさまはとかしこいとなる此中なからめは
らしきみやけなとも先来り母にもて先て都に
かへまり夕さるまゝ御て兄弟とひ兄弟もろとも
母の枕ならはさしむかひ四方山乃ちなし世中のうす
なとかたりきこえて老をなくはれぬ寒夜りも
食なきまゝ夜もすから焼火をまりけ呉さと此ハ
かゝれい風しき住居のそんかゝ母々まハ家のそとも
にゐるハ末陰なとにおひ行ゐ源ませしとそ主和の
孝利あまくかそふへから次なと此地をこの川かり
おさむる牧羊侮茶守より学えあけ今まで室磨八年

七月のるまゝに銀あまくの御褒美をうくて
さまゝなかつて備前守よりも米をこさくをとら
せくその行先をとて先しまあるまゝ
月乃ことなり也

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197　ガラス使用

孝義録巻之二十八

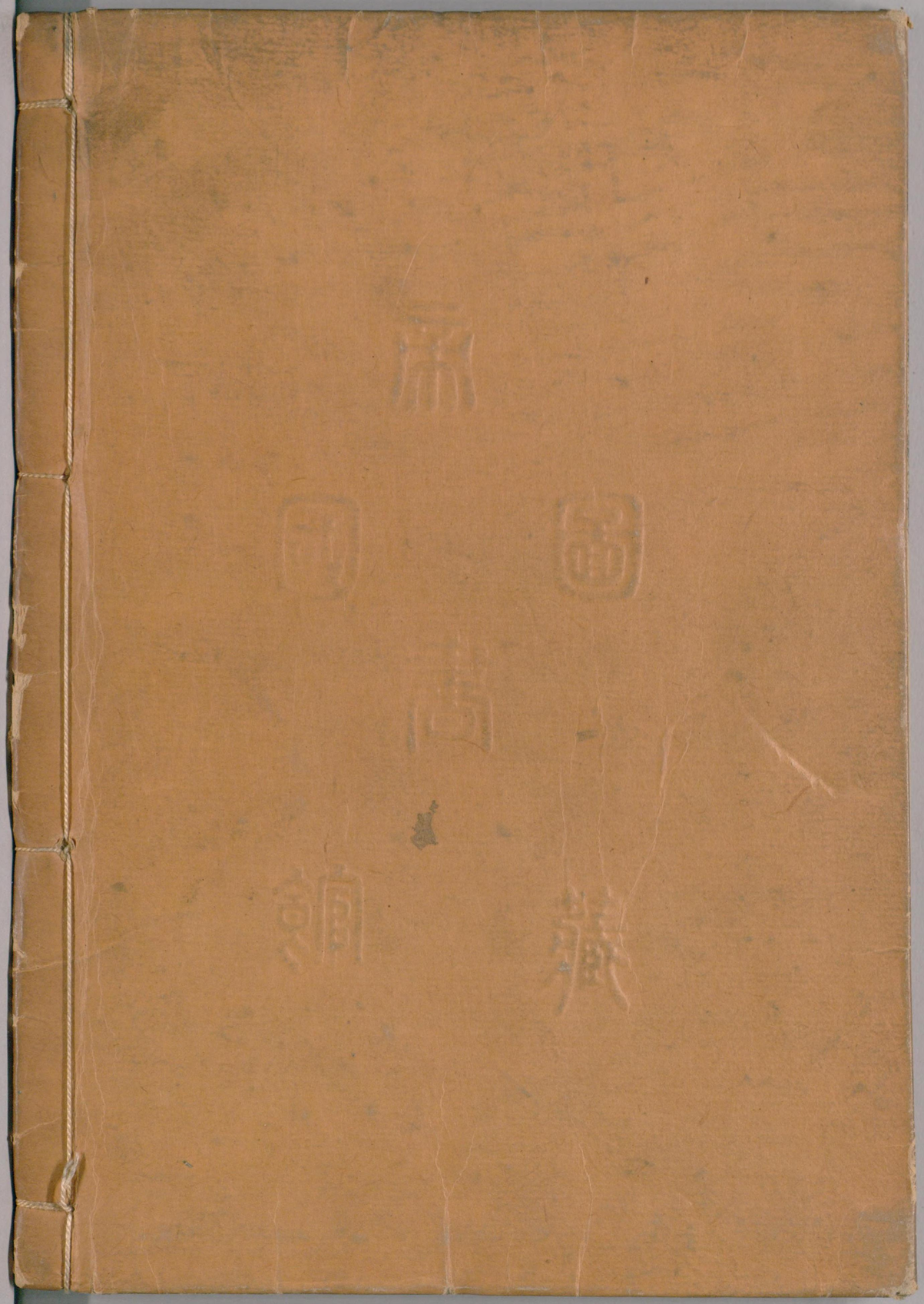
国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

136
80
197

国立国会図書館　タイトル『孝義録』 請求記号 136-197

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用